

大阪大学生協 豊中キャンパス 学生委員会・生協職員との交流会



[組織運営]

取り組み概要

日時：2/9 14:00~16:00
 場所：福利会館3階
 参加者数や組合員の反応：
 学生会17人、職員17人の計34人が参加し、活発な議論が行われていた。

背景や概要：職員と学生が仲良くなり、両者が考えていることやしていることとのすり合わせを行うため、小規模のグループで交流をした。

これからを学生と職員で考える

POINT.1

学調を活用

2024年2月9日 大阪大学生協 交流会 豊中キャンパス 1階3階 福利会館
● 参加者 学生会員生活実態調査(学調) 実施者
1. 調査結果の共有
2. 調査結果「生活実態調査」について「希望する生活」「希望する学費」について話し合う
3. 調査結果「生活実態調査」について「希望する生活」「希望する学費」について話し合う
4. その他

皆さんは、学生生活実態調査(学調)をご存知でしょうか。学調は名前の通り組合員の生活が知れるデータです。この交流会では学調をもとに学生委員と職員が話し合う場となっており、**データから組合員の現状をしっかりと把握**できていました。

また、交流会の事前課題としてレポートが出されていました。これにより、**全員が学調を見てから参加する**という流れを作っていました。

POINT.2

お互いに思っていることを

交流会の最初には専務と委員長それぞれが感じている課題や24年力を入れたことの発表がありました。**共通認識となっている課題が分かる**ようになっていました。

グループ別の話し合いでは、職員から積極的に学生へ質問がされていました。**お互いが思っていることをたくさん話し合う場**となっていました。



POINT.3

話しやすい雰囲気



職員との交流会と聞いて、堅い雰囲気を想像した方は多いのではないのでしょうか。しかし、この交流会はとても和やかな雰囲気が進められていました。

そのための工夫として、各テーブルにはお菓子が山積みになっていたり、自己紹介シートでお互いのやっていることや好きなことが分かるようになっていたり、**和気あいあいと話し合える工夫**がされていました。